

# 平成29年度予算のポイント

## 予算編成方針

平成29年度予算は、

### 「『新しい東京』の実現に向けた改革を強力に推し進め、

1

「セーフシティ」「ダイバーシティ」「スマートシティ」の3つのシティの実現に向けて、東京が抱える課題の解決とより一層の成長創出のための施策展開を力強く進めること

## 「新しい東京」の未来を切り拓く戦略的な施策展開

### 誰もがいきいきと活躍できる都市 — 「ダイバーシティ」の実現

- **子供を安心して産み育てられる環境の整備** 1,630億円 (+417億円)  
待機児童解消に向けた取組、子育て環境の充実 など
- **誰もが優しさを感じられるまちづくり** 168億円 (+86億円)  
トイレの洋式化の推進、動物の殺処分ゼロに向けた取組 など
- **誰もが活躍できる社会の実現** 181億円 (+7億円)  
ライフ・ワーク・バランスの充実、女性の活躍推進 など

### 日本の成長をけん引し世界の中で輝き続ける都市 — 「スマートシティ」の実現

- **国際金融・経済都市の実現** 3,684億円 (+90億円)  
起業・創業の促進、成長産業の育成・強化 など
- **世界に開かれた国際・観光都市の実現** 320億円 (+34億円)  
外国人旅行者等の誘致、多彩な観光資源の開発・発信 など
- **スマートエネルギー都市の実現** 177億円 (+55億円)  
LED照明の導入促進、家庭における省エネルギー対策の推進 など

### 安全・安心でにぎわいにあふれる都市 — 「セーフシティ」の実現

- **地震が起こっても倒れない・燃えないまちづくり** 1,461億円 (▲116億円)  
無電柱化の推進、建築物の耐震化の促進 など
- **災害対応力の強化** 111億円 (+16億円)  
地域防災力の向上支援、特別区消防団の整備・運営 など
- **まちの安全・安心の確保** 78億円 (+36億円)  
テロ・サイバーセキュリティ対策、地域における見守り活動への支援 など

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の成功に向けた取組

649億円  
(▲111億円)

多摩・島しょの振興

〔地域を支える都市インフラの整備／産業の振興 など〕

2,393億円  
(+193億円)

# 「明るい未来への確かな道筋を紡ぐ予算」

と位置付け、次の点を基本に編成しました。

2

全ての事業の総点検を実施し、無駄の排除を徹底して行うなど、都民ファーストの視点に立った財政構造改革の一層の推進を図ること

## 時代の変化に適応し得る健全な財政運営の推進

### 不安定な歳入構造

- ◆ 平成29年度の都税収入は、**6年ぶりに減少に転じるもの**の、3年連続で**5兆円台を確保**
- ◆ 歳入の7割超を占める都税収入は、過去には**1年で約1兆円の減収**となるなど、元来不安定な構造にある

### 今後増加が見込まれる財政需要

#### 社会保障関係経費の増加額

毎年平均 + 約 **300 ~ 400 億円**  
23年間の累計で + 約 **9.5 兆円**

#### 社会資本ストックの維持更新経費の増加額

現行水準から毎年平均 + 約 **1,400 億円**  
23年間の累計で + 約 **3.2 兆円**

※第三者による推計値

## 社会構造の変化を踏まえ、将来に向けて強靱な財政基盤を構築する取組

### 事業評価の推進

#### ■ 終期設定の徹底によるPDCAサイクルの強化

- ・ 財源確保額 約**720**億円 (対前年度比 約2.4倍)
- ・ 見直し・再構築件数 **574**件 (対前年度比 約1.8倍)

⇒ 施策の新陳代謝を促進し、過去最高となる**382**件の新規事業を立ち上げ



### 基金残高の確保

#### ■ 平成28年度最終補正予算による基金残高の確保

- ・ 福祉先進都市実現基金等への積立 **2,092**億円
- ・ 新たに2基金を創設 **1,000**億円

### 都債の発行抑制









#### ■ 将来世代の負担を考慮した発行額の抑制

- ・ 都債発行額 **▲551**億円 (対前年度比▲15.6%)
- ・ 起債依存度 **4.3%** (対前年度比▲0.7ポイント)

## コラム 予算編成プロセスの見直し

- 平成29年度予算では、都民の声を最大限予算に反映し、「都民ファースト」の都政を実現していくため、予算編成プロセスの見直しを行いました。
- 具体的には、新たに現場の実態に精通する各種団体や、都民により身近な行政サービスを提供している区市町村から、知事が直接意見・要望を伺う場を設けてインターネット中継で配信しました。
- また、各局からの予算の要求状況や、財務局による予算査定の結果をホームページで公表するなど、予算編成プロセスの透明性を高める取組を進めました。
- さらに、タブレット端末の活用による知事査定資料のペーパーレス化や、査定終了後に知事の囲み取材を実施しました。

### ■ 平成29年度予算編成に係る見直しの取組

平成28年 8月5日	予算見積方針の発表	
11月9日	各局予算要求発表	 <span style="border: 1px solid orange; padding: 2px;">各局予算要求資料を財務局ホームページで取りまとめて公表</span>
12月12日 ～21日	知事に対する予算要望	 <span style="border: 1px solid orange; padding: 2px;">知事が各種団体や区市町村からの意見・要望を伺う機会を新たに設定し、メディアに公開するとともに、インターネット中継で配信</span>  <span style="border: 1px solid orange; padding: 2px;">都議会各会派からの予算要望の内容をメディアに公開するとともに、インターネット中継で配信</span>
12月27日	財務局予算査定結果の公表	 <span style="border: 1px solid orange; padding: 2px;">財務局ホームページで公表</span>
平成29年 1月5日 ～16日	知事査定	 <span style="border: 1px solid orange; padding: 2px;">タブレット端末を活用し、知事査定資料のペーパーレス化を実施</span>  <span style="border: 1px solid orange; padding: 2px;">各局長からのヒアリングを実施</span>  <span style="border: 1px solid orange; padding: 2px;">査定終了後の囲み取材で、知事から査定状況を説明</span>
1月25日	予算案発表	 <span style="border: 1px solid orange; padding: 2px;">           予算関係資料の充実            ・「東京都予算案のあらまし」            ・「知っているかな？みんなの暮らしと東京都」 を追加         </span>

は、「都民ファースト」の観点から新たに改善を図ったもの